

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|-----|----|---------|-----|---------|---------|--|-----|
| 事業所名 | | ひまわりきっず | | | | 支援プログラム | | 作成日 | 2024 年 | 12 月 | 1 日 |
| 法人（事業所）理念 | | 発達の壁を越えて子どもたちへワクワクできる環境を提供し、幅の広い経験・体験を積み重ねていくことで経験の中から人生を作る。社会で活躍できる人財を育成の架け橋になる。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | こどもたちの『できた!!!』を応援する。環境作りからこどもたちの達成、頑張りを応援していく事業所になること | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | | 9 時 | 0 分 | から | 18 時 | 0 分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 基本的な生活習慣の習得：歯磨き、手洗い、着替え、食事などの練習。クッキングを取り入れることで、食事への興味関心を高めることができます。 安全な生活のための知識・技能の習得：交通ルール、災害時の避難方法など行事を行い学ぶ。 健康状態の把握と管理：定期的な健康チェック、適切な休息を取り入れ、メリハリのある時間を楽しむ。 | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 粗大運動：公園や広場でのびのびと体を動かす、楽しい時間を取り入れる。 巧緻運動：指先を使った遊び（粘土遊び、ビーズ通しなど）を通して手先の器用さを養う。 感覚統合：様々な感覚刺激を提供する遊び（スライム遊び、砂遊び、ブランコなど）、五感を刺激する体験（海辺での散策、はだしでの療育など）。 | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 注意力・集中力：ゲームやパズル、絵本や歌を通して、集中して取り組む力を養う。 記憶力：絵合わせゲーム、記憶ゲーム、動植物に関するクイズなど。 問題解決能力：ブロック遊び、迷路を通して、試行錯誤しながら問題を解決する力を養う。 | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 発語・発音：絵カード、発音練習、風船を使った言葉遊びなど。 会話：ごっこ遊び、ことばのキャッチボールや歌を通して、コミュニケーション能力を高める。 非言語コミュニケーション：表情やジェスチャー、絵カードなどを使い、言葉を使わないコミュニケーション方法を学ぶ。 | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 集団活動：グループゲーム、共同制作を通して、協調性や社会性を育む。 ルールやマナー：ゲームや活動を通して、ルールを守ること、順番を待つこと、周りの人に配慮することなどを学ぶ。 自己表現：絵画、音楽、ダンスなど、自己表現を通して、自信や自己肯定感を高める。たくさんのかことを体験することで表現の幅を広げることができます。 | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 保護者さまからの相談などの機会の提供、ニーズに合わせた利用の提供 定期的な面談によるニーズの確認やデイでの様子などの共有を提供していきます。 | | | | | | 移行支援 | | 発達段階に合わせて、今後の成長へのステップアップ相談などを行い、移行へも繋げていける環境作りを提供していきます。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域の保育所や幼稚園、学校などと連携し、子どもたちの成長の情報共有を図ります。 公園などで地域で遊ぶ機会や体験を増やしていきます。 | | | | | | 職員の質の向上 | | 職員の研修会を定期的に行い、質の向上を図るとともに支援会議などを通して目的の共有と質の向上のために考え方をブラッシュアップしていく機会を作っていきます。 | |
| 主な行事等 | | 季節に応じたイベントを始め、園外への活動などで様々な体験・経験を積み重ねていきます。 例：クリスマス会、お正月会、夏祭り、ハロウィンなど | | | | | | | | | |